

令和5年7月

発行

新社屋竣工記念特集

日赤にいがたNEWS

N I S S E K I N I I G A T A

号 外



地域に寄り添い、人と人をつなぐ新拠点



令和3年度より建替工事を行ってまいりました新社屋が令和5年3月に完成いたしました。災害発生時は全国から赤十字スタッフが集結するなど救護活動の拠点となるほか、年間を通じて防災や応急手当などが体験できる施設として、地域に密着した活動にも取り組んでまいります。見学も受け付けておりますので、新しく生まれ変わった赤十字施設にぜひお越しください。

新社屋は、動画でもご覧いただくことができます。



日本赤十字社 新潟県支部
Japanese Red Cross Society

裏面もあります



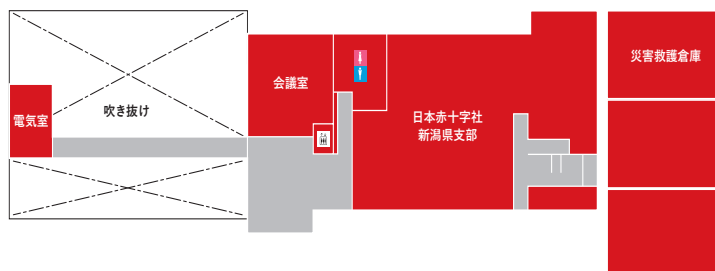


災害救護活動やボランティア活動の拠点としての役割を果たします

+1階フロア



+2階フロア



備える



- クロスホール・ラウンジ／災害時には、クロスホールとクロスラウンジを一体化させて災害対策室を設置します。
- 災害救護倉庫／倉庫には、災害時に被災者にお届けする救護物資や救護資機材を保管しています。

協働く



- ボランティアルーム1・2／ボランティアの活動拠点として災害時には赤十字防災ボランティアセンターを設置します。

伝える



- クロスラウンジ／赤十字紹介パネルなどの展示やイベントなどのスペースとして活用します。

育む



- 屋外(外構)／災害時には、屋外にテント(仮設救護所)を設置、平時は災害救護訓練や防災体験教室などを実施し、赤十字活動の未来を支える人材を育成します。

日本赤十字社新潟県支部 建物の遍歴

日本赤十字社新潟県支部は1887年(明治20年)に県庁内に設置され、1904年(明治37年)西堀通三に移転しました。1908年(明治41年)の新潟市大火により消失した支部事務所は、1911年(明治44年)に営所通二番町の地に移転改築し63年間活動を続けました。救護員養成所を併設し、当時は、その後看護婦寄宿舎も増設され支部診療所も開設されていました。

1965年(昭和40年)には血液センターが発足し、1974年(昭和49年)に関屋下川原町1丁目の現有地(新潟市水道局浄水場跡地)へ移転しました。



営所通二番町にあった社屋
明治43年建設工事着手 明治44年6月完成



関屋下川原町にあった旧社屋
昭和48年建設工事着手 昭和49年6月完成

その後50年余り、旧社屋において業務にあたっておりましたが、近年は、建物の経年劣化や建築耐震性の見直しに伴い、毎年のように補強・修繕や設備機器の更新が行われ、さらには2020年(令和2年)に血液センターが中央区美咲町に移転し、新潟県支部の本部機能だけでは建物の維持に困難をきたすため、現有地での建替を決断しました。2020年(令和2年)には建築に向けての設計者選定のプロポーザルを行い、設計者として新潟市建築設計協同組合を特定しました。また、2021年(令和3年)の基本・実施設計後、入札を経て清水建設(株)と契約を行い、既存施設の解体と新社屋の建設に着手し、2023年(令和5年)3月に竣工しました。



日本赤十字社 新潟県支部
Japanese Red Cross Society

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町1-3-12

TEL 025-231-3121 FAX 025-231-3122

E-mail humanity@niigata.jrc.or.jp <https://www.jrc.or.jp/chapter/niigata/>

